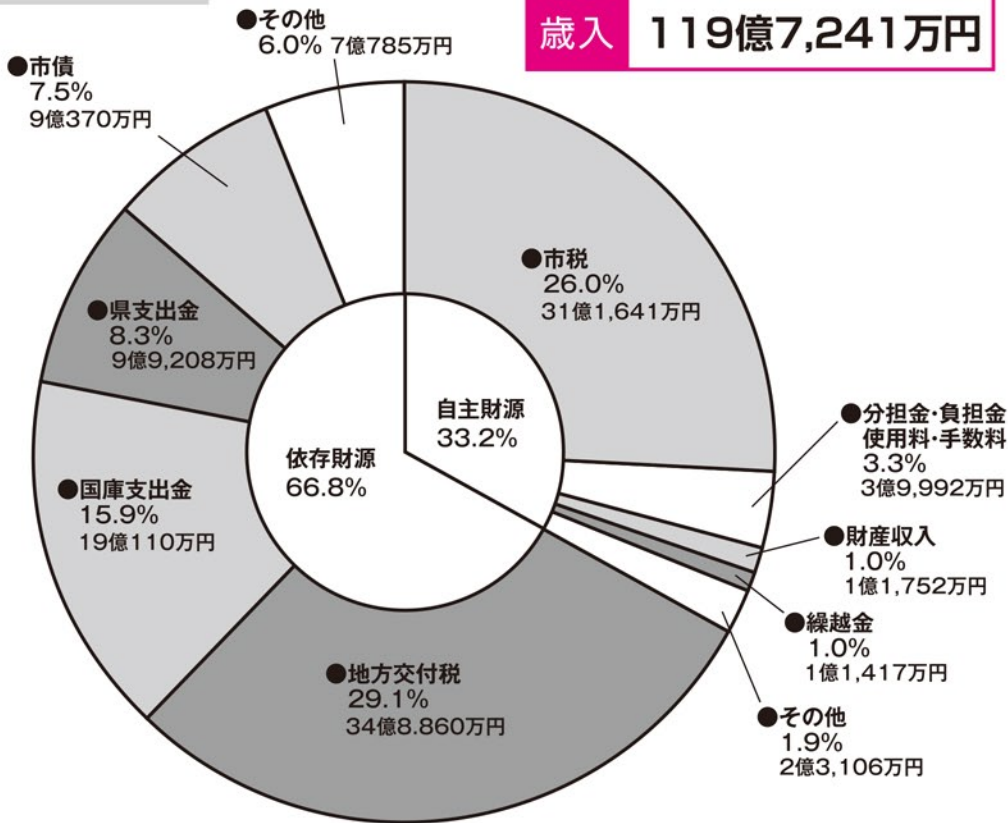


歳入 119億7,241万円



1人当たり	117,671円
(昨年度 119,058円)	
1世帯当たり	263,500円
(昨年度 269,592円)	

【分担金及び負担金】
保育所保育料及び医療費の負担金が主なものです。
【使用料及び手数料】
市営住宅、体育館、公民館等施設の使用料、住民票発行手数料などです。
【地方交付税】
国税として徴収した所得税、法人税、酒税、消費税及びたばこ税の一定割合が市の財政状況に応じて配分されます。
【国・県支出金】
いろいろな事業に対する国・県からの補助金です。
【市債】
市の資金調達手段の一つで、長期の借入資金です。

平成27年度の一般会計歳入(市に入ったお金)は、前年度比2.9%増の**119億7,241万円**(前年度116億3,082万円)、歳出(市が使ったお金)は3.8%増の**119億1,412万円**(前年度114億7,665万円)となっています。歳入から歳出を差し引いた額(形式収支)は**5,829万円**です。これから翌年度に繰り越すことになった事業の財源2,449万円を差し引いた残り(実質収支)は、**3,380万円**となり、**黒字決算**となりました。

市の財政を年収300万円「月25万円」の家庭に置き換えてみると
(単位:万円)

平成27年度の歳出		家庭の年間支出	
人件費	18億1,997	食費	46
扶助費	30億1,991	医療・介護費	76
公債費	11億6,407	ローン返済	29
物件費	14億0,163	光熱水費等	35
補助費等	16億6,864	自治会費等	42
繰出金	12億4,165	仕送り	31
出資・積立金	1億1,193	貯金等	3
投資的経費	13億8,634	家の改築	35
維持補修等	9,998	家の修繕等	2
計	119億1,412	計	299

平成27年度の歳入		家庭の年間収入	
市税	31億1,641	給料	78
分担金・負担金 使用料・手数料	3億9,992	不動産収入	10
繰入金	1,530	貯金の取崩し	1
繰越金	1億1,417	前年の繰越金	3
国・県支出金 交付税等	63億8,178	親からの援助	160
市債	9億0,370	借入金	22
その他	10億4,113	その他収入	26
計	119億7,241	計	300

平成27年度 決算

平成27年度の決算の概要をお知らせします。市では、皆さんの毎日の暮らしや生活環境の向上、まちの発展と基盤づくりを目指してさまざまな仕事をしています。これらの仕事は、皆さんが納めた税金と、国や県からの補助金、地方交付税などの財源で行われています。決算は、その収入(歳入)と支出(歳出)をまとめたものです。

主な普通建設事業

教育・福祉の向上	小中学校体育館天井等改修事業	1億4,144万円
	文化的景観保護推進事業	497万円
	求菩提山史跡整備事業	3,593万円

消防車



都市基盤の整備	道路一般単独事業	1億3,712万円
	道路橋梁新設改良事業	6,883万円
	上町～沓川池線街路事業	1億6,354万円
	市営住宅長寿命化整備事業	3,005万円
	消防自動車購入費	2,017万円

うみてらす豊前

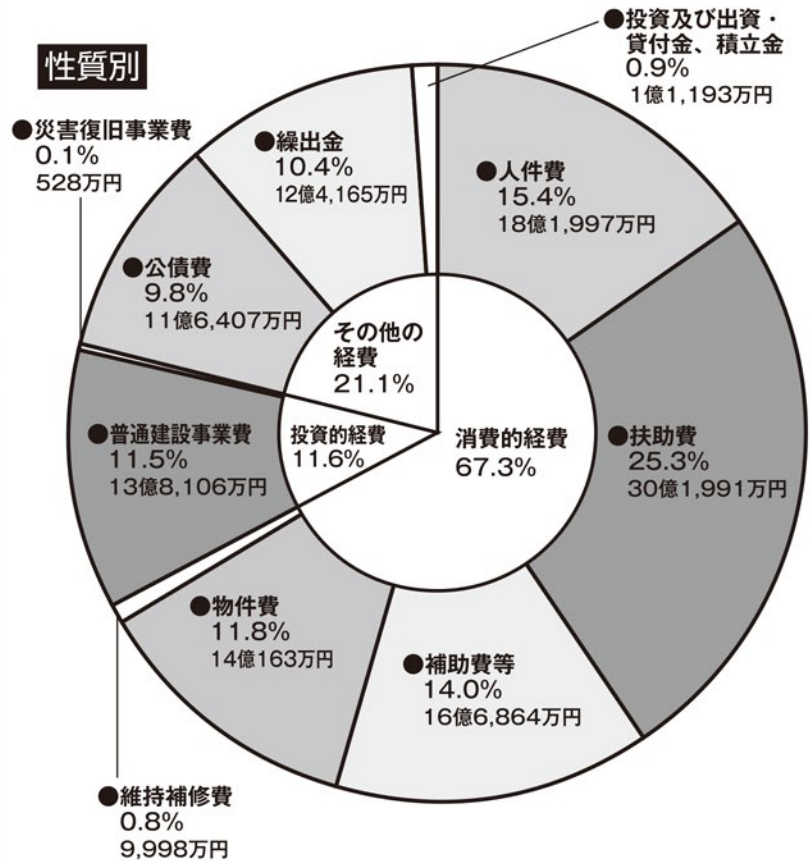


産業の振興	荒廃森林再生事業	4,513万円
	総合交流促進施設(ト仙の郷)改修事業	3,619万円
	水産振興施設整備事業	3億257万円
	小石原工業団地外周道路整備事業	2,190万円

歳出 119億1,412万円

歳出の見方として、予算を使った性質ごとに分類した「性質別歳出分類」と、使う目的ごとに分類した「目的別歳出分類」の2つがあります。

性質別



市民サービス

(平成28年3月末 人口 26,484人
世帯 11,827)

1人当たり **449,861円**
(昨年度 429,194円)

1世帯当たり **1,007,366円**
(昨年度 971,856円)

目的別

議会費 1億5,700万円	総務費 12億432万円	民生費 47億7,943万円
衛生費 9億4,662万円	労働費 2,878万円	農林水産業費 8億6,970万円
商工費 1億9,834万円	土木費 10億3,222万円	消防費 4億7,722万円
教育費 10億5,114万円	災害復旧費 528万円	公債費 11億6,407万円

平成27年度特別会計決算

(単位：万円)

会計名	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引額
国民健康保険 事業	38億3,102 (35億0,703)	38億4,184 (35億0,110)	△1,082 (593)
後期高齢者 医療事業	4億4,683 (4億4,384)	4億3,164 (4億2,899)	1,519 (1,485)
住宅新築資金等 貸付事業	455 (252)	2,623 (2,868)	△2,168 (△2,616)
市営駐車場 事業	1,374 (1,040)	1,164 (661)	210 (379)
市バス 事業	5,631 (3,692)	5,631 (3,692)	0 (0)
工業用地 造成事業	1億6,555 (2億2,705)	1億6,555 (2億2,697)	0 (8)
合計	45億1,800 (42億2,776)	45億3,321 (42億2,927)	△1,521 (△151)

※()内は26年度決算額

平成27年度末地方債の現在高

(単位：万円)

区分	平成26年度末 現在高	平成27年度中増減額		平成27年度末 現在高	
		借入額	償還元金		
一般会計(長期債)	110億8,738	9億0,370	10億2,142	109億6,966	
特別会計	市バス事業	0	2,050	2,050	
	工業用地造成事業	2億1,700	1億6,410	0	3億8,110
企業会計	水道事業	10億0,238	3,600	5,762	9億8,076
	公共下水道事業	34億2,385	2,230	1億8,358	32億6,257
	農業集落排水施設事業	1億8,803	0	1,341	1億7,462
	工業用水道事業	7,555	0	447	7,108
合計	159億9,419	11億4,660	12億8,050	158億6,029	

平成27年度末基金の現在高

(単位：万円)

区分	平成26年度末 現在高	平成27年度中増減額		平成27年度末 現在高
		積立額	取崩額	
財政調整基金	16億1,380	4,199	0	16億5,579
市債管理基金	4億5,061	149	0	4億5,210
学校施設整備基金	1億0,164	28	0	1億0,192
退職手当基金	1億6,983	113	0	1億7,096
総合文化施設整備基金	1億5,129	1,051	0	1億6,180
ふるさと創生基金	267	1	0	268
地域福祉基金	5,759	16	16	5,759
中山間ふるさと水と土保全基金	993	3	0	996
観光開発基金	1,228	301	123	1,406
ふるさとづくり応援基金	793	1,195	793	1,195
合計	25億7,757	7,056	932	26億3,881

平成27年度水道事業会計決算

収益の収入及び支出

(単位：万円)

水道事業収益	5億8,634
水道事業費用	5億6,653
差引額(消費税込)	1,981
当年度純利益	1,434

資本の収入及び支出

資本的収入	9,204
資本的支出	1億7,928
差引額	△8,724

平成27年度工業用水道事業会計決算

収益の収入及び支出

(単位：万円)

工業用水道事業収益	2,690
工業用水道事業費用	2,581
差引額(消費税込)	109
当年度純利益	109

資本の収入及び支出

資本的収入	447
資本的支出	447
差引額	0

平成27年度公共下水道事業決算

収益の収入及び支出

(単位：万円)

下水道事業収益	4億4,087
下水道事業費用	4億8,644
差引額(消費税込)	△4,557
当年度純利益	△4,893

資本の収入及び支出

資本的収入	6,882
資本的支出	2億7,847
差引額	△2億0,965

平成27年度農業集落排水施設事業決算

収益の収入及び支出

(単位：万円)

下水道事業収益	2,623
下水道事業費用	3,211
差引額(消費税込)	△588
当年度純利益	△588

資本の収入及び支出

資本的収入	0
資本的支出	1,341
差引額	△1,341

豊前市財政の現状

財政構造の硬直化

財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、平成27年度決算では1.5ポイント改善して94.3%となったものの、依然として高い数値であり、監査委員から引き続き改善に努めるよう指摘を受けています。今後も行財政改革を着実に進め財政の健全化に努めてまいります。

平成27年度決算に基づく健全化判断比率の状況

(単位：%)

財政指標名	平成25年度 健全化判断比率	平成26年度 健全化判断比率	平成27年度 健全化判断比率	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	—	—	—	14.07	20.00
②連結実質赤字比率	—	—	—	19.07	30.00
③実質公債費比率	10.7	9.5	8.9	25.0	35.0
④将来負担比率	70.0	73.7	65.2	350.0	—

財政健全化法の施行により、自治体は、法律にある4つの指標を公表することが義務付けられています。豊前市は、早期健全化基準及び財政再生基準ともに大幅に下回っていますが、今後も健全財政を心がけて財政運営に取り組んでまいります。

- ①実質赤字比率**…普通会計の赤字額が標準的な収入額（標準財政規模）に占める割合を示すものです。なお、比率は黒字のため「—」表示になっています。
- ②連結実質赤字比率**…全会計の実質赤字が標準的な収入額に占める割合を示すものです。なお、比率は黒字のため「—」表示になっています。
- ③実質公債費比率**…借入金の返済に使ったお金が年間の標準的な収入額に占める割合を示すものです。全会計、一部事務組合、広域連合までも含めて、収入のうちどのくらいを借金の返済にあてているかを示すものです。
- ④将来負担比率**…全会計と一部事務組合の地方債残高、公営企業、開発公社等の債務残高、全職員に対する退職手当予定支給額など含めて、将来にわたり普通会計が負担すべき債務が年間の標準的な収入に占める割合を示すものです。負担を将来に先送りすることにより将来的に財政悪化を生じないように、実質的な負債を捉えたものです。

平成27年度決算に基づく資金不足比率の状況

特別会計の名称	資金不足比率 (%)
豊前市工業用地造成事業特別会計	—
豊前市水道事業会計	—
豊前市東部地区工業用水道事業会計	—
豊前市下水道事業特別会計	—

資金不足比率…公営企業ごとの資金の不足額が、事業の規模に対してどの程度あるか、を示すものです。いずれの会計とも黒字で、資金不足比率は算定されないため、「—」表示になっています。なお、経営健全化基準は、20.0%です。

補助金の公表について

平成27年度中に各団体へ補助金を交付した一覧を財務課財政係にて公表しています。